

道路計画合意形成研究会 設立趣旨

幹線道路等の広域的根幹的施設の計画は、関係する住民が多数にのぼり、価値観も多様化していることから、沿線住民の合意形成を図ることが困難であったり、長期間を要しているのが現状である。

これらの道路事業を含めた公共事業全般について、事業の円滑な進捗を図るためには、関係住民、地元自治体の意向を十分に把握して計画に反映するという、P I（パブリック・インボルブメント）による合意形成を重視する必要があるが、諸外国に比べ、我が国では未だ合意形成の方法が未熟であり、市民のこの問題に対する理解も十分とは言えない状況にある。

特に昨今の幹線道路事業については、計画段階・事業実施段階のみならず、構想段階においてもP Iを実施し、透明性・客観性の高い合意形成プロセスを構築することが強く望まれているところである。

このような背景のもと、今後の幹線道路事業の構想段階における計画決定プロセスやP Iプロセスの内容等について具体的に整理・検討を行い、望ましい合意形成のプロセスを提言することを目的として、本研究会を設立するものである。